



「DX」の目的は「人材育成」と「組織強化」

株式会社フォネット

☑ 代表取締役…清水 栄一

☑ 業 種…情報通信業

☑ 所 在 地…甲府市下石田2-10-6

☑ 創 業…平成10年(1998年)



担当:鈴木

当社は「情報通信」という分野を軸に多様な事業を展開しています。主な事業として「携帯電話ショップ運営」を行っており、山梨県を中心に全31店舗を展開しています。また、地域の皆様に支えていただいたことへの感謝を形にしたいと考え、数年前から「観光事業」にも力を入れており、河口湖駅前のお土産店「ふじさんプラザ」、登山用品レンタルショップ「LaMont(ラumont)」の運営、「青い富士山カレー」等お土産物の開発にも取り組んでいます。

近年は、「DX(デジタルトランスフォーメーション)」にも注力しております。当初は「DX」という言葉ばかりが先行しているように感じていましたが、まさに中小企業こそが本格的に取り組むべき分野だと考えるようになりました。現在、様々な企業様に提案できる商材を用意している一方で、まずは当社自身が率先して「DX」に取り組むことが重要だと認識しています。単に最新の「ソフトウェア」を導入するだけでは真の「DX」にはならないのではないかと考えたためです。

全従業員のスキル向上を目指し、以下の二つの軸に注力する方針を定めました。一つ目の軸と



して、部署を横断した「DX委員会」を立ち上げ、従業員が主体となってDXの研究や業務改善に取り組んでいます。

す。二つ目の軸としては、「MENTER(メンター)」というクラウドサービスを導入し、全従業員が動画などを通じて「DX」を学びやすい体制を整えました。

従業員のスキルアップは決して簡単なことではありませんが、当社のような中小企業こそ、「DX」を単なる業務効率化の手段として捉えるのではなく、「人材育成」や「組織強化」といった本質に目を向けるべきだと考えています。

DX推進についてお悩みの企業様がいらっしゃいましたら、当社の実体験を基にお話させていただき、一緒に強靱な組織づくりに取り組む機会を持てれば幸いです。どうぞお気軽にお声がけください。